

基盤整備

	49年度	48年度	49 / 48
千円	千円	千円	%
公 共 事 業	38,078,171	46,882,424	81.2
(1) 道路橋りょう関係	8,635,387	11,828,195	73.0
(2) 河川関係	2,883,284	3,533,224	80.5
(3) 農業基盤関係	11,785,605	15,331,655	76.9
(4) 治山・林道関係	1,857,605	2,665,197	69.7
(5) 漁港関係	1,023,543	1,082,201	94.6
(6) その他	11,892,747	12,391,952	96.0
単 独 事 業	6,394,428	11,475,786	55.7
(1) 道路関係	4,812,665		
(2) 農業基盤	368,803		
(3) その他	1,212,960		

豊かな社会、郷土を築くため、県ではいろいろな計画を考え、調査し、作成する考えでいますが、今後地域開発の展開にあたって特に問題となります土地利用対策については、環境と調和した秩序ある土地利用を行うための調査などをし

て、国の土地利用対策と一体となった県の措置を考えます。工業用水道については、有明地域と八代地区との建設が進められています。これが完成したときは、本県のみならず大牟田地区の工業には大いに貢献することとなりましょう。

そこで現行の土地利用規制関係法律によって裏付ある土地利用計画を(1)都市地域、(2)農業地域、(3)森林地域、(4)自然公園地域、(5)自然保全地域の五地域に区分して作成し、暫定的に利用していきます。

★ 有明・大牟田工業用水道事業……十七億七千五百九十二万円
有明工業用水道建設事業は有明臨海工業地帯に立地する工場の工業用水を供給する事業で、県の給水量は日量五万余トンです。施設の一部は福岡県の大牟田工業用水道及び大牟田市の上水道との共同事業で、熊本県が両者から委託を受け一括施行することとなり、四十六年度からの継続事業として実施中で、四十九年度が最終年度で、五十年四月一日から給水する計画です。

★ 暫定的土地利用計画の作成……七百万円
県民生活や自然環境との調和を図りながら、国土の有効利用と地域間の均衡ある発展を推進していくためには、土地の計画的利用と規制に関する対策を強化し、秩序のある土地利用をめざす必要があります。



南北へぐんぐん伸びる縦貫道

中央から遠隔の地にある本県として、四十九年度は、政府予算九億三百万円。その後進性から脱却するために、高速道路、新幹線鉄道、空港など高速、高能率の輸送システムによって時間距離の短縮を行い、これと各生活圏との交通網の整備を図り、住民生活の利便と地域経済の進展を目指します。

★ 熊本空港の整備促進……五千九十万円
九州縦貫自動車道・中九州横断自動車道建設促進……二百四十一万円

九州縦貫自動車道は鳥栖・熊本間七・四キロメートルが供用されています。が、熊本以南については、松橋まで現在工事中であり、小川・八代間は用地買収中です。八代・えびの間については整備計画が昨年十一月に決定し、施行命令が出て、調査が始まります。中九州横断自動車道についても、ひきつづきその促進を図ります。

九州横断新幹線鉄道は、大分・熊本間について昨年十一月基本計画の決定をみました。今後とも具体化を図ります。
★ 熊本港の建設促進……一億四百五十万円
熊本港計画は、昭和四十五年以来必要な調査を実施してきましたが、昨年末港灣審議会の審議を経て本年一月運輸大臣から計画の承認を受けました。四十九年度は、重要港湾としての実施設計調査費一億五千万円(県負担額六千七百五十万円)が決定し、国直轄による調査が行われる予定です。一方県の予算は従来から継続して行ってきた技術調査、新たにを行う背後地開発計画、関連道路、漁業振興、環境保全等の調査費など四千三百三十万円を計上しました。

☆ 高速自動車道関連流通施設整備……五百二十一万円
車両の高速、大型化、トレーラー化など新しい輸送形態の導入に対応し、流通の能率を高めるため、四十九年度から熊本インター周辺にトラックターミナル、トレーラーヤードの建設にとりかかりました。五十年末に開業の予定です。

★ 阿蘇登山有料道路……十二億円
阿蘇町から阿蘇山上までの現在の登山道路を白水村大字吉田まで延長し、国道三二五号線と接続させるもので、南阿蘇地域の産業及び観光の開発を促進するとともに、登山交通量の緩和と防災面での役割をねらって四十九年度から本格的に着工、五十一年完成の予定です。

★ 九州新幹線建設促進……三百六十万円
九州新幹線鉄道は昨年十一月整備計画が決定し、国鉄において輸送力、地形、地質等の調査が実施されています。今後、工事着手までには工事実施計画の認可が必要ですが、それは本年、半ば過ぎとなる見通しです。五十四年に福岡市・鹿児島市の一斉開通予定を五十二年に熊本市までの途中開業ができるよう中央に強力に働きかけています。

☆ 天草下島横断有料道路……一億円
本渡市から下田に通ずる本渡下田線の整備促進を図るもので五十二年度完成を目途に、四十九年度は調査、測量等を行っています。